

営繕年報

—明日への記録—

平成28年度～令和4年度

令和6年3月

福岡県建築都市部営繕設備課

発刊のことば

本書は、平成28年度から令和4年度までの7年間に、福岡県が整備した公共建築物について、皆様にご紹介するためにまとめたものです。

営繕設備課においては、芸術、文化、スポーツ、学問、生活の安全、福祉など、県民の皆様にも生活の豊かさを実感してもらうため様々な公共建築に取り組んでいます。その代表的なものについて、本編でカラー写真を用いて概要をご紹介します、巻末には記録として資料を掲載しています。本書をご覧になり、福岡県の公共建築に親しみを感じ、実際に足を運んでいただければ幸いです。

この数年間を顧みますと、平成28年4月の熊本地震、平成29年7月の九州北部豪雨といった大災害を経験し、被災地の復興・復旧に向けて、官民一体となって取り組んできました。また、令和2年には新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、私たちの生命や生活のみならず、経済、社会、人々の行動・意識まで多方面に影響が及び、以降の私たちを取り巻く環境は大きく変化しました。

一方、社会資本の整備を支える建設業界においては、技能労働者の高齢化や若年入職者の減少による担い手不足が恒常的な課題となっています。令和元年には「公共工事の品質確保の促進に関する法律」、「建設業法」及び「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」のいわゆる「担い手3法」が改正され、建設業界のワーク・ライフ・バランスの改善を図り、働きやすい環境づくりのため、本県としても週休2日促進工事の実施による働き方改革等に取り組んでいます。

このような中、本県は、令和4年3月に今後5年間の本県の行政運営の指針となる「福岡県総合計画」を策定しました。「誰もが安心して、たくさんの笑顔で暮らせる福岡県」を目指し、地方創生、感染症や災害に負けない強靱な社会づくり、将来の発展を支える基盤づくりに取り組んでいます。建築都市部としましても、「安全」・「安心」はもちろんのこと、脱炭素化やユニバーサルデザイン化を推進し、皆様に愛される公共建築の整備に努めてまいります。

本書に掲載した施設につきましては、携わった皆様のご理解とご協力のもと、無事完成をむかえることができました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

今後とも、本県の進める建築都市行政に対しご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和6年3月 福岡県建築都市部長 永山 慎治

目次

スポーツ・社会教育施設

久留米スポーツセンター 体育館	1
筑後広域公園 プール	5
福岡自治研修センター	7

民生・福祉施設、教育施設

粕屋新光園 親子・講堂棟	9
(現 福岡県子ども療育センター新光園)	
福岡女子大学 弓道場	10

産業・経済施設

福岡高等技術専門学校 本館棟／実習棟	11
--------------------	----

高等学校・特別支援学校

筑紫中央高等学校 普通教室棟／特別教室・管理棟／メディア棟／体育館棟	15
築上西高等学校 特別教室棟／管理教室棟	19
福岡高等学校 講堂棟	21
筑紫丘高等学校 本館棟	23
田川高等学校 管理特別教室棟	25
久留米高等学校 管理教室棟	27
築城特別支援学校 教室棟	29
若松高等学校 特別教室棟	31
山門高等学校 管理教室棟	32
三池高等学校 体育館	33

特集

県立学校正門デザイン図鑑	35
--------------	----

資料

営繕機構の沿革	41
営繕設備課内の機構の変遷	42
組織及び担当業務の概要	43
営繕工事金額・件数の推移	44
工事一覧表	45